

# Dynavector 10X5 MKII 取扱説明書

このたびは、ダイナベクターMCカートリッジDV-10X5MKIIをお買い上げいただき誠に有難うございました。ご使用前にこの説明書をお読みいただき、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

## ■特徴

10X5MKIIの原型であるDV-10Xシリーズは、1978年に輸出専用モデルとして開発されました。発売直後の1978年および1981年にアメリカ最大のシカゴCES（Consumer's Electronics Show）でデザイン＆エンジニアリング賞を受賞しており、価格を抑えながら音質優先に設計された優れたパフォーマンスは世界に広く認められています。

### 1. 高出力MCカートリッジ

10X5MKIIは出力が2.8mVあるため、ヘッドアンプや昇圧トランジistorなしのそのままMMカートリッジと同様に使えます。これは、ダイナベクターが開発した独特の巻線技術により初めて可能になるもので、超細繊維を発電コイルに多数回巻くことにより、通常のMCカートリッジでは難しい高出力を実現しています。

### 2. 改良点

カンチレバーは丈夫な硬質アルミニウムパイプを採用、スタイルスはムクダイヤモンドのラインコントクト、シバタ針タイプIIIを採用しました。従来の精円針に比べ、高音域における特性がさらに向上しているだけでなく、高分解能なトレース能力で今まで以上に優れた高出力カートリッジとなっています。

### 3. 独自の技術を採用した磁気回路

従来のサマリウムコバルト磁石に変わりさらに強力なネオジム磁石を採用し、さらにフラックスダンパーとソフト化マグネット（特許取得）を搭載しています。

磁気回路の磁束変動の干涉を消去するフラックスダンパーと、強力な磁気回路の内部磁気抵抗を低減するソフト化マグネットのコンビネーションにより、その再生音は極めてスムーズ且つ自然で、MCカートリッジ特有の「ウルササ」はありません。

### 4. 高剛性のヘッドプレートの採用

ヘッドシェルへの取付け強度を高めるため、無垢アルミ材のヘッドプレートを接着しています。ガラス繊維強化ボディと組み合わせたベース構成により、ヘッドシェルへの強固な取り付けが可能です。

### 5. 使い良さ

重量7.5g、コンプライアンス12mm/Nは多くのトーンアームとのマッチングも良く、アームとの相性に神経質になる必要はありません。推奨負荷抵抗は1,000Ω以上で、通常は47KΩのアンプのMMポジションのPHONO入力端子に接続します。

## ■針圧

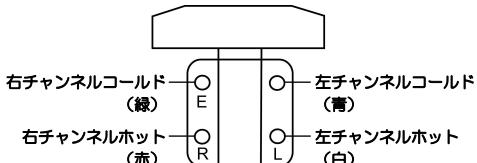
適正針圧は1.8~2.2gで、室温20°Cが基準です。室内温度が高い場合はやや軽め、低い場合はやや重めの針圧でお使いください。

## ■針先のクリーニング

針先はカートリッジの性能を左右する大変デリケートな部分ですので取り扱いにはご注意ください。針先の汚れはやわらかいブラシなどで根本から針先に向かって軽く払うようにクリーニングしてください。通常の針先クリーニングはノンアルコールタイプのクリーリング液を推奨します。

## ■取付方法

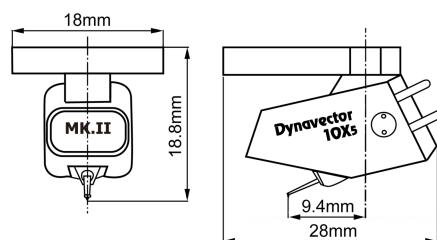
ピンセット等を使用し、各端子をリード線でヘッドシェルにしっかりと接続します。カートリッジ本体を付属のネジでヘッドシェルにしっかりと固定した後、トーンアームに取付けます。取付け部分が緩んでいますと正しい再生が行われなかったり、カートリッジやレコードを傷めてしまうことがありますのでご注意ください。配線に際して半田付けは絶対に避けてください。線材の内部断線の原因となります。



付属のねじを用いてカートリッジをシェルに取り付けます。適合のネジサイズはM2.5です。取り付け位置はご使用のトーンアームのオーバーハングに合わせます。詳しくはトーンアームの取扱説明書を参照ください。

## ■針交換

針先が磨耗した場合は、お買い上げいただいたお店宛にお送りください。針交換価格にて新品とお取換え致します。



## 仕様

形 式	: 高出力MCカートリッジ、 フラックスダンパー & ソフト化マグネット
出力電圧	: 2.8mV (1KHz, 5cm/sec.)
周波数特性	: 20~20,000Hz (±2dB)
チャンネルバランス	: 1.0dB以下/1KHz
チャンネルセパレーション	: 25dB以上/1KHz
コンプライアンス	: 12mm/N
インピーダンス	: 150Ω
スタイルス	: シバタ針タイプIII ラインコントクト
カンチレバー	: 6mm長 硬質アルミニウムパイプ
針 圧	: 1.8~2.2g
推奨負荷抵抗	: 1,000Ω以上
重 量	: 7.5g

## ダイナベクター株式会社

〒101-0031 東京都千代田区東神田3-2-7  
TEL 03(3861)4341 FAX 03(3862)1650  
<http://www.dynavector.co.jp/>